

公 示 用

令 和 6 年 度

設 計 書

役務名 豊平川中継ポンプ場ほか2施設計装設備点検業務

令和 6年9月

【業務委託設計書作成基準の公表について】

- (1) 業務委託費の積算の透明性・妥当性を図ることを目的として、本市の業務委託設計書作成基準を一部、公表しています。
- (2) 公表は、下水道庁舎1階の閲覧コーナーにある閲覧用パソコン(2台設置)で行っています。
- (3) 提供時間は開庁日の午前9時から午後5時までです。(12時15分から13時00分を除く。)
- (4) 閲覧に当たっては、備付けの情報提供設計書閲覧・複写届に必要な事項を記入し、窓口に提出してください。
- (5) データの閲覧又は、CD-Rへの複写が可能です。CD-Rは持参してください。

【業務委託設計書作成基準を公表しているのは、下表の業務である。】

業務項目	対象施設、設備等
運転管理業務	拓北T、伏古川T、東部T、定山溪T、厚別T、茨戸T 西部SC焼却、西部SC脱水、東部SC、手稲沈砂洗浄C、厚別洗浄C
融雪施設運転管理業務	創成川融雪管、厚別融雪槽
維持管理	埋設圧送管、MP施設等
汚泥等運搬業務	沈砂等、定山溪プラザ濃縮汚泥、東部SC等脱水汚泥
焼却灰運搬業務	西部SC
クレーン性能検査整備	
電気設備点検	特別高圧、高圧電気、計装、高圧電動機等、シーケンサ等、直流電源
エレベータ点検	
消防設備点検	
庭園管理	
構内除雪	

札幌市下水道河川局事業推進部豊平川水処理センター

札 幌 市

(委託設計書 様式1)

役務名		豊平川中継ポンプ場ほか2施設計装設備点検業務	
一金 内訳	{	業務委託費	円
		業務価格	円
		消費税等相当額	円
業 務 説 明			
1 業務の概要 計装設備は、ポンプ場の自動制御に関わる水位・流量等を測定記録するための重要な設備であり、故障を未然に防止するとともに、信頼性の維持及び今後の修繕計画の指標とするため点検業務を行う。			
2 履行期間 ☒ 契約締結日から 令和 7年 3月 28日まで ☐ 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで			
3 仕様書 ☒ 別添共通仕様書及び特記仕様書による。 ☐ 別添仕様書による。			

業務委託費総括表(機・電設備点検業務)

役務名 豊平川中継ポンプ場ほか2施設計装設備点検業務

一金 門

業務委託費

業務価格

業務原価

直接業務費

間接業務費

輸送費
第何号内訳書

材料費
第何号内訳書

労務費
第1号内訳書

複合工費
第何号内訳書

直接経費
第2号内訳書

仮設費
第何号内訳書

運搬費

準備費

安全費

技術管理費

共通仮設費
第3号内訳書

現場管理費
第4号内訳書

業務間接費
第5号内訳書

一般管理費等
第6号内訳書

検査手数料等
第何号内訳書

消費税等相当額

(委託設計書 様式3)

一金 円

札幌市

第 2 号 直接経費 内 訳 書

[illegible]

札幌市

第 3 号 共通仮設費 内 訳 書

名 称	積 算 計 算	金 額
共 通 仮 設 費	共通仮設費 = 直接業務費 × 共通仮設費率 + 積み上げ積算	
	電気設備 の共通仮設費率 =	
	共通仮設費 = × = 円	円
運 搬 費	運搬費(積上げ)	
		円
準 備 費	準備費(積上げ)	
		円
安 全 費	安全費(積上げ)	
		円
技 術 管 理 費	技術管理費(積上げ)	
		円

札 幌 市

第 4 号 現 場 管 理 費 内 訳 書

現 場 管 理 費	現場管理費 = (直接業務費 + 共通仮設費) × 現場管理費率	
	電気設備の 現場管理費率 =	
	現場管理費 = × = 円	円

第 5 号 業 務 間 接 費 内 訳 書

業 務 間 接 費	電気設備の業務間接費 = 技術労務費 ×	
	電気設備の業務間接費 = × = 円	円

第 6 号 一 般 管 理 費 等 内 訳 書

一般管理費等	一般管理費等 = 業務原価 × 一般管理費等率	
	電気設備の一 般管理費等率 =	
	電気設備の = × 一般管理費等 = 円	円

札 幌 市